

2026年度（令和8年度）幼稚園自己評価表

最終更新日 2026年（令和8年）5月 7日

園番 6 福山市立手城幼稚園

1 幼稚園教育目標

遊んで 学んで 育ちあう てしろっ子

2 目指す自園の幼稚園像（ビジョン）

「一人一人が輝き 笑顔いっぱいの手城幼稚園」
 こどもが思い切り遊べる幼稚園
 こどもが安心できる清潔で安全な環境
 こどもとともに深く学びあう教職員
 家庭・地域・小学校としっかり連携する幼稚園

3 目指す幼児像

笑顔いっぱいのこども
 感性豊かにのびのびと遊ぶこども
 思いを伝え合いながら遊ぶこども
 自分で考え行動することも

4 自園の現状分析（地域環境・園の環境・幼児観・保護者、地域との連携協力・現状課題など）

本園のある地域は、市のほぼ中央部に位置し、商業施設や住宅が密集し交通量も多い地域にある。そのため、こどもが安心して遊べる場や自然に触れて思いきり遊べる環境が限られている状況がある。また市外からの転居や核家族化の影響により、子育てについて気軽に交流・相談する機会が少ない保護者も見られる。こうした中で、幼稚園には安心して過ごせる居場所としての役割や、家庭・地域と連携しながらこどもの育ちを支えることが求められている。

近年は、環境の変化に慣れにくいこどもや、人と関わりに不安を感じるこども、自分の思いを言葉で伝えることが難しいこどもなど、多様な姿が見られる。そのため、一人一人の特性に応じた丁寧な関わりとともに、こども同士が関わり合いながら育つ経験を大切にしていく必要がある。

年長児では、新しい環境の中で意欲的に遊びを見つけたり、友だちと関わりながら遊びを広げたりする姿が見られる一方で、環境の変化に戸惑いや不安を感じたり、相手の思いに気づいたり、自分の思いを伝えたりすることに難しさが見られる場面もある。また、基本的な生活習慣の定着や仲間と共通の目的に向かって取り組む力には個人差があり、年下児への思いやりを育てる経験の充実も課題となっている。

地域においては、幼稚園教育への関心が高く、年間のさまざまな行事を通して多くの方との出会いがあり、温かな支援と協力が得られている。また「ことばの相談室」や未就園児の会「るんるんランド」、園庭開放（未就園児のあそび場）など、地域内外からの参加もあり、子育て相談の拠点としての役割も担っている。

このような現状を踏まえ、本園では、こどもが安心して自己を発揮し、友だちと関わりながら共に育ち合うことができる環境作りを大切にしていく。その中で、遊びや生活を通して思いを伝え合い、対話を重ねながら相手の思いに気づき、自分の考えを深めていく経験を積み重ねていくことが重要であると考えている。

5 今年度の重点目標と設定理由（ビジョン実現のために）

重点目標	設定理由
一人一人が安心して自己を発揮し、友だちと関わりながら思いや考えを伝え合い、ともに育ち合うことを目指す。	本園では、遊びや生活の中で自分の思いを表現したり、友だちと関わろうとする姿が見られる一方で、相手の気持ちに気づいたり、思いを言葉で伝え合ったりすることに難しさが見られる場面もある。また、一人一人の特性や発達に応じた丁寧な関わりを基盤としながら、安心して自己を発揮できる環境づくりが求められている。 そこで、遊びを通して思いや考えを伝え合う経験や振り返りを大切にし、自分や友だちのよさに気づきながら関わりを深めていく。また、保護者や関係機関と連携し、一人一人に応じた支援を行い、共に育ち合う環境づくりを進めていく。

	3年間の目標	1年間の目標	具体的な方策	評価	評価結果
					○=反省や課題◎=改善のための方策
生きる力の基礎	遊びや生活、食の体験を通して思いや考えを伝え合いながら、主体的に関わり、生きる力の基礎を育てる。	遊びや生活、食の経験の中で、自分の思いを言葉や表現で伝え、友だちの気持ちに気づきながら、関わりを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが「やってみたい」と思える遊びや環境を工夫し、主体的に関わる姿を育てる。 ・遊びや生活の中で対話を大切にし、思いや気づきを伝え合う経験を積み重ねる。 ・写真や実物を活用した振り返りや話し合いを取り入れ、自分や友だちのよさに気づけるようにする。 ・栽培やクッキングなどの体験を通して、食への興味・関心を育てる。 ・食事の場面で感じたことや気づきを言葉にし伝え合う機会を大切にする。 ・一人一人に応じた援助を行いながら、楽しく食べる経験を重ねる。 		
教師の役割	一人一人の思いを受けとめ、対話や振り返りを通して子どもの考えを深め、主体的な関わりを引き出す保育を行う。	こどもの思いに寄り添いながら、対話をつなぎ、思いや考えを伝え合う経験を支える。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの思いを受けとめ、対話を通して考えを深められるよう援助する。 ・こども同士の関わりをつなぎ、思いを伝え合う経験を支える。 ・日々の姿を共有しながら振り返りを行い、保育の改善につなげる。 ・外部研修や助言を取り入れ、職員間で学びを共有しながら実践を深める。 		
信頼される幼稚園	こどもの育ちや学びを家庭や地域と共有し、安心して通える信頼される幼稚園づくりを進める。	こどもの姿や育ちをわかりやすく伝え、保護者や地域との相互理解を深めるとともに、保護者アンケートにおける肯定的評価が90%以上を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの姿や育ちを、写真などを活用してわかりやすく配信または掲示し、日常的な対話を大切にする。 ・アンケート等を通して意見を受けとめ、改善に生かす。 ・未就園児の会を毎月1回実施、園庭開放として遊びの場の提供(毎日)をし、子育て相談を行う。また、地域行事に積極的に参加し、交流を大切にする。 ・関係機関と連携し、一人一人に応じた支援を行う。 		

【生きる力の基礎】ー 健康・人間関係・環境・言葉・表現 【教師の役割】ー 計画的な環境構成・活動場面における教師の役割・人材育成

【信頼される幼稚園】ー 情報提供・他の公共機関との連携・幼児と地域住民との人間関係づくり・教育相談